



芸南トピックス



ちやぐりんレシピにチャレンジ



▲えだまめ、コーン、ツナマヨなど好きな具材を入れて握りました

J A女性部芸南地区本部のフレッシュミズ部会は8月20日、東広島市の安芸津生涯学習センターで「夏やすみおやこ料理教室」を開き、部員や小学生ら24人が参加しました。ちやぐりん8月号の別冊付録に掲載されているポテトサラダ、ブタ肉のしょうが焼き、おにぎりに加え、ポテトの冷製ポタージュスープを作りました。食材は広島県産を使い、ポテトは特産馬鈴薯を



▲ひろしま米はひろしま愛プロジェクトのウチワを持って記念撮影

使用。デザートにエコープの青りんご味とぶどう味のゼリーを作り、みんなで楽しく、美味しくいただきました。
おにぎりは子どもたちが担当。普段は簡単に口に入れることができるおにぎりも、熱々のごはんを握るのが大変だったと、おかあさんの大変さを実感していました。



歯と健康について学びました



▲講師の説明を熱心に聴く女性部員

J A女性部芸南地区本部は8月22日、JA安芸津支店でくらしの宅配便商品講習会を開催し、部員など20人が参加しました。
株式会社サンギから講師を迎え、「歯と健康について」と題して、歯の基礎知識や薬用ハイドロキシアパタイトの効能効果、ブラッシングの方法などクイズを交えながら楽しく学びました。

受講した部員からは、「健康で生活するためには歯みがきがいかに大事か再確認できた。これからも丁寧な歯みがきを心がける」と声がありました。





水 稲 10月

来年の土づくりについて

冬場の土づくりは来年の稲の生育に大きく影響するので、有機物補給・土壌改良剤を施用し耕起しておきましょう。

①有機物（10a当り）次のいずれかを1t施用しましょう。

- ・牛ふん堆肥 ・豊穰2号
- ・こだわり健肥

②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けましょう。

・病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める「ゲイ酸」を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる「鉄分」を施用してください。

資材の使用例（※10a当り施用量）

ケイカル 200kg（10袋）

ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち

病・ごま葉枯れ予防に。
ミネラルG 200kg（10袋）
ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガンとバランス良い改良資材。
ミネリッチ 100kg（5袋）
ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に。
土楽園 60kg（6袋）
高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ。

その他

石灰窒素 20kg（1袋）
年内に生ワラの上に散布。腐敗と微生物の増加を促進。

アグリ革命 2kg（1袋）
酵素資材のため、土壌環境の影響は受けません。うきワラ・ガスわきを減少させる。

水稲問 安浦店
TEL 0823-8412049
担当 桑原 伸明

野 菜 10月

馬鈴しょ

病害虫防除・管理について

アブラムシの発生はウイルス病を媒介し、後の収穫に大きく影響します。また、急激な低温・長雨があると病気が多発します。早期の連続予防散布を心がけましょう。

病害虫防除例

10月上旬

【アブラムシ】

モベントフロアブル 4,000倍液
（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

【疫病防除】

ランマンフロアブル 1,000倍液
（収穫7日前まで、使用回数4回以内）
前記2剤を混用散布。

10月下旬

【アブラムシ】

テルスター水和剤 1,000倍液
（収穫3日前まで、使用回数4回以内）

【疫病】

フォリオゴールド 1,000倍液
（収穫7日前まで、使用回数3回以内）
前記2剤を混用散布。

※アオムシ・ヨトウムシの防除は定期的に観察を行ない、早めの防除をお願いします。

防除例（追加防除）

【アオムシ・ヨトウムシ】

ベネビアOD 4,000倍液
（収穫7日前まで、使用回数3回以内）
またはディアナSC 3,000倍液
（収穫前日まで、使用回数2回以内）

・土寄せ：土寄せは馬鈴しょの緑化を防ぎ、肥大を促進するため、着蕾期終わるまでには必ず行ないましょう。

・ウイルス病、葉巻病の発生が確認された場合は、伝染を防ぐため、発生株を抜き、圃場外へ出してください。

たまねぎ

作付け・病害虫防除・管理について

※苗の植え付け時期は早生で11月上旬、晩生は11月中旬頃です。植え遅れしないように注意しましょう。植え付け後は苗の立枯病と、初期の病害虫・べと病に注意しましょう。

病害虫防除例

【苗立枯病】

オーソサイド水和剤 600倍液
（収穫前日まで、使用回数5回以内）

【べと病】

ダコニール 1,000倍液
（収穫7日前まで、使用回数6回以内）

【アザミウマ類】

スミチオン乳剤 1,000倍液
（収穫21日前まで、使用回数2回以内）

その他の野菜

秋の深まりとともに、種のまき時が終わる品種があります。まき遅れは生育不良につながり、生産量が減少します。種袋などの暦を確認し注意しましょう。温度が下がるにつれて害虫は減少していきますが、予防を心がけましょう。

ネキリムシ（カブラヤガ・タマヤナガ等）に注意！

ガの幼虫で、地中に潜み、夜間に植え付け直後の野菜苗や発芽した

芽を食害し、切り倒す特徴があります。

作付け前に薬剤の予防散布を行ない、作付け後も観察し対策をしましょう。

防除例

【作付け前】

ダイアジノン粒剤5を土壌混和4kg／10a（は種または定植時に1回）

【作付け後】

ガードベイトAを株元散布3kg／10a（は種時から生育初期まで、4回以内）

※害虫が食べる誘引殺虫剤です。降雨があると薬剤が溶けだし、効果が落ちはじめるので、再度株元に散布してください。散布回数は作物により異なる場合があります。登録作物に注意して散布してください。

＜生産工程管理日誌は必ず提出しましょう＞

生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用できるほか、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農業使用は細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜問 営農経済課

TEL 0846-4513360

担当 久保勝義

果樹

11月

温州みかん

腐敗果を出さないためにも、腐敗防止対策を必ず行ないましょう。

収穫前には、次の対策を実施しましょう。

1. 腐敗防止剤を必ず散布する

散布時期

・早生温州 10月中旬～10月下旬
・普通温州 11月中旬～11月下旬

散布薬剤

ベルクトフロアブル2,000倍液（収穫前日まで使用回数3回以内）
ベンレート水和剤 4,000倍液（収穫前日まで、使用回数4回以内）
の混用散布を実施しましょう。
※ベルクトフロアブルは散布後丸一日間収穫できません。

その際、浮皮軽減・着色促進のため、カルピタP770倍液を混用散布しましょう。

また、普通温州は樹勢回復のため、尿素200倍液を混用散布しましょう。

さらに、腐敗防止剤と収穫前ミカンハダニ防除を同時に行なう場合は、オマイト水和剤750倍液を散布しましょう。

ただし、

温州ミカン 収穫7日前まで

中晩柑類 収穫14日前まで

使用回数は2回までとなっていて、すので、注意して散布しましょう。

2. 秋肥を施用する

まだ秋肥を施用していない園地では、遅くとも11月上旬までに施用しましょう。特に隔年結果がひどく今年全く成っていない園地ほど、隔年結果は正のためにはしっかり基準量を施用しましょう。

びわ

開花開始時期となり、令和8年夏の収穫を目指し、管理作業を徹底しましょう。

1. 病害虫防除

年間の病害虫発生密度を少なくするためにも石灰硫黄合剤を散布しましょう。また、芯ぐされ（果実腐敗病）の発生防止のためにも開花期の殺菌剤散布を必ず実施しましょう。

散布時期

11月中旬～11月下旬

散布薬剤

石灰硫黄合剤100倍液を幹まで掛かるように散布しましょう。

2. 摘房・摘蕾の実施

連年安定生産を目指し、枝数6割程度で充実の良い果房を残します。（目安…2枝につき1花房残す程度）

また副梢は小玉で生育が遅れやすいため、中心枝を残すようにしましょう。なお、寒害を受けやすい園地では、副梢を2～3割程度多めに残しましょう。

摘蕾は摘房と同時進行で実施しますが、残した花房の下3段の花こうを残して上部を除き、その中から大きくて充実しているもの2段を残し、1段は除くようにしましょう。

いちじく

収穫が終わり、樹体では落葉が始まります。残果・落葉は病害虫の感染源となるため、できるだけ園外に持ち出して処分しましょう。

農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示板などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となっており、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。

果樹問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-4510488

担当 JA広島果実連 駐在技術員

栗木 富生

10月の苗販売情報

JA安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。数に限りがありますので、お早目にお問合せ頂きぜひご利用ください。



128穴
セルトレイ



(商品例)
ブロッコリー苗

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	春波・春空など	10月 下旬～	2月 中旬～
レタス類	サニーレタス・ ロメインレタスなど	10月 下旬～	1月 下旬～
ブロッコリー	エンデバー	10月 中旬～	3月 中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応致します。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの
ふれあい市



JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。

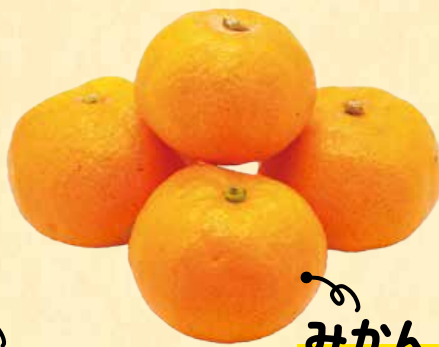


10月の
おすすめ

日に日に秋が深まり、過ごしやすい気候となってきました。
収穫の秋と言われるように、秋にはおいしい食材がたくさんあり、
食べる楽しみが大きい季節ですね。
ふれあい市から季節の情報をお届けします。



レモン



みかん



かき



さつまいも



さといも



くり

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い
合せてください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。